

つるだ同朋子ども園平成28年度の評価

○園児数の推移について

4月1日	58名
5月1日	59名
6月1日	60名
7月1日	61名
8月1日	61名
9月1日	59名
10月1日	65名
11月1日	65名
12月1日	69名
1月1日	69名
2月1日	74名
3月1日	74名
年間利用者数	774名

○一時預かり事業利用について

6月	6名
11月	2名
12月	2名
2月	3名
10月	3名
年間	16名

○学童保育利用について（自主事業）

4月	49名
5月	56名
6月	48名
7月	86名
8月	111名
9月	45名
10月	53名
11月	45名
12月	54名
1月	40名
2月	21名
3月	17名
年間	625名

○事故について

0件

○苦情について

0件

○備品・設備整備等について

- ・園庭ビオトープ設置
- ・事務用倉庫設置
- ・防犯カメラ設置（補助事業）

○保育内容について

園の理念・方針、保育所保育指針にのっとた保育計画のもと、充実した保育を行うことができた。また年間行事等も計画通りに行うことができた。保育の質を維持しさらに高めるために、保育検討会・職員会議（未満児・以上児）・給食会議・保育に関する研修会（月2回）を行った。又、関係団体等の研修会にも、積極的に職員を派遣し、保育者としての資質向上に努めた。

○「リスクマネジメントの推進」に関して

以上児クラス、未満児クラスにそれぞれリスクマネージャーを配置し、屋外環境・室内環境・子ども・職員、それぞれが持つリスクを洗い出し、チェック表を作成して全員でリスクマネジメントに取り組んだ結果、事故0件を達成することができた。また、補助金を活用して防犯カメラを設置したことで、駐車場・園庭・園舎裏・廊下等の状況が常に把握できるようになった。

○「職員の資質向上と人材育成に関して」に関して

「平成28年度社会福祉法人経営労務管理改善支援事業費補助金」を活用して、社会保険労務士の協力・助言のもと、人事考課制度を構築し、それを反映した就業規則・給与規程に改正しました。また、法人の保育理念・保育目標に合致した業務が行われるように「保育実施基準・サービス基準」を定めました。また職員がそれらに基づいて自己評価を行うとともに自己目標を設定したことで、それぞれが努力の方向を定めることができた。管理監督側としては育成面接などを通して、職員の成長をサポートしていきたい。

○学童保育について

耳珠事業として行ってきた学童保育が、平成29年度からさつま町の委託事業「放課後児童健全育成事業」となることに伴い、町と協議しつつ準備を進めた。

○幼保連携型認定こども園への移行について

平成28年度は、29年度からの幼保連携型認定こども園への移行に向けて準備を進めた。

地域の過疎化に伴う子どもの絶対数の減少への対策として『環境特性分析と経営課題の明確化』を作成したことにより、今後の目標が明らかになってきた。

幼保連携型認定こども園となる来年度以降も、より質の高い保育の実践と、安定的な経営の両立をはかりつつ、地域福祉・教育に貢献できるように、職員一丸となって歩みを進める所存である。